

この本の内容



講演会で話す著者
(コスガ聰一氏撮影)

(編集部)

●認知症専門の内田直樹医師が、認知症についてコラムで解説します。

座などで講師を務めたり、誰もが使いやすい空港のデザインを考えたりと、全国各地で活躍しています。

●モデル事務所に所属して、モデルとしても活動しています。

●認知症の方は、日本に600万人以上いるとされています。認知症の人も、そうでない人も、誰もが暮らしやすい社会を、どのようにつくっていくらしいのでしょうか。この本を読んで、いつしょに考えてみませんか？

●著者、さとうみきさんは43歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断を受けました。

●この本には、診断後、家に閉じこもっていたさとうみきさんが、同じ認知症の方たちや支援者と出会い、変わっていく様子が綴られています。

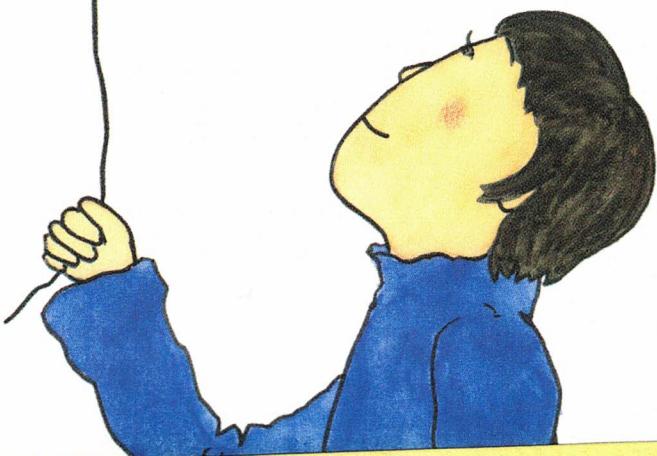
●発達障害のある息子さんの子育ての経験で培つたこと、自分が中学生のときに受けたいじめをのりこえたきつかけなどが、いまの日々への後押しにもなりました。

●いまは、デイサービスで当事者スタッフとして働き、認知症の人やご家族の相談にのったり、小中学校の認知症サポートー養成講

認知症のわたしから、10代のあなたへ

Sato Miki さとうみき

認知症の わたしから、 10代のあなたへ



いまの自分が、
一番好き！

中学生の
探究学習に
最適！

学習入門の新シリーズ

岩波書店

さとうみき

岩波書店